人文地理談話会May09，2013

呉羽正昭（筑波大学生命環境系）

リゾートでのフィールドワーク

- オーストリア・アルプスのスキーリゾート

内容

- リゾートでのフィールドワーク
  - その特性など
  - スキーリゾート
- 具体的な調査経過・結果
- まとめ１：研究の考察
- まとめ２：リゾートでのフィールドワーク
  - そのポイントetc.

リゾートとは？

- リゾート
  - バカンスの目的地：繰り返し訪れ，ある期間滞在し，自己実現を志向するレクリエーションを積極的に展開する非日常的空間
  - ローカルな観光目的地
  - リピーター，長期滞在
  - 日本の観光目的地とは異なる側面を有する

リゾートでのフィールドワーク

- 観光地理学の研究
  - 多くは観光目的地を対象（ローカルスケール）
  - リゾート＝観光目的地
- 分析に用いるデータをいかに収集するか？
  - フィールドワーク
  - 既存の資料（統計資料など）
- 具体的なフィールドワーク
  - 聞き取り調査
  - 土地利用調査
  - （アンケート調査）
  - 現地でしか得られない統計や文献，地籍図等の資料収集

スキーリゾートでのフィールドワーク

- スキーリゾートの要素
  - スキー場
  - リゾートタウン
  - ツーリスト
- 調査項目
  - リゾートの景観（諸施設）
  - 観光者の行動
  - それらの変化
- 具体的な調査
  - 景観・土地利用調査
  - 聞き取り調査
  - 統計の収集

スキーリゾートでのフィールドワーク

- 他の対象（観光目的地以外，リゾート以外）とは異なるポイント
  - 例：季節性，長期滞在
- 日本の観光目的地との相違
  - 長期滞在
  - 観光者の行動パターン
  - 景観・土地利用
  - 統計資料の充実

オーストリア・アルプスのスキーリゾート

- 研究内容
  - オーストリアのスキーリゾート
    - とくにチロル州
  - 継続的な発展傾向：なぜ？
    - 過去の調査1990年代前半（留学時）
    - 景観の激変
    - 観光者行動の変化？
    - 地球温暖化の影響？

対象リゾート：ゼルデンSölden

- チロル州
- エッツタールÖtztalの最奥部
- 人口3,066（2001センサス）：Sölden地区2,163
  - 4,252（2012）
  - 人口増加要因：社会増加
- 年間宿泊数：約230万泊（ゲマインデ）
- 宿泊施設：700軒弱，約15000ベッド（同）
- 対象はゼルデン地区
  - 伝統的なリゾートではない（⇔Kitzbühel, St. Anton, Seefeld)

土地利用調査（道路沿いのみ）

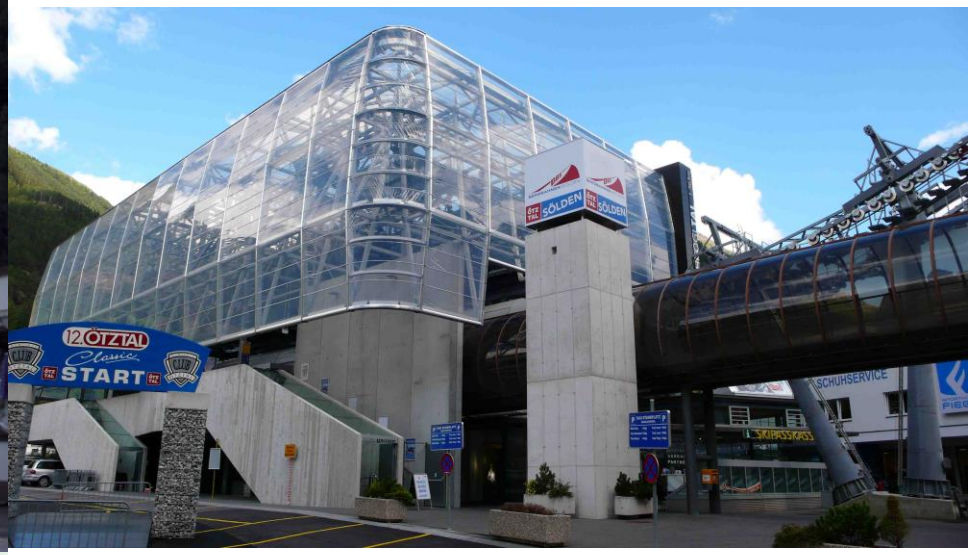
- 宿泊施設
- スポーツ店
- 飲食店
- ベースマップ

聞き取り調査

- 観光協会の協会長等に
  - あらかじめ調査項目を渡す
- 最近20年間の変化
  - スキー場開発：氷河スキー場との索道連結
  - 宿泊施設：高級化，アパート増加
  - スポーツ店：スポーツモードの流行，ニューモデルの貸スキー
  - 滞在者の行動：冬，夏（自転車，プール，ラフティング，登山など）
  - など

- 景観変化の例
  - 1990年代前半→2010年代前半

GAISLACHKOGLBAHN


12. ÖTZTAL
Classic
START
SÖLDEN
SCHUHSERVICE

SCHUHE GLANZER
Schuhverleih
Skiverleih
Gelbspezialitäten

STYLE
SHOES
RESTAURANT
PIZZERIA
Gusto
Café

若干の考察

- オーストリア・アルプスで賑わうスキーリゾート
  - ある程度のスキー人口
  - ヨーロッパ（とくにEU先進国）における経済成長
  - 東ヨーロッパにおける所得格差
  - アウトドアレクリエーションブーム
- 地球温暖化
  - 標高の高いスキーリゾートが有利
    - 氷河スキー場を有する：ゼルデン，Neustift im Stubaital, Mayrhofen im Zillertal etc.
    - その他：Ischgl, St. Anton am Arlberg, Serfaus

おわりに1/2

- 今回の発表テーマ:「リゾートでのフィールドワーク」
- 調査環境
  - 豊富な資料
    - 観光パンフレット，観光地図（近年とくに質向上），測量地図
    - 既存のマーケット調査
  - 季節性
    - 例:冬季のみ稼働するスキーリゾート
    - 調査時期の検討（繁忙期と閑散期）
- 調査手法
  - 土地利用調査，景観観察が中心
  - 観光者の行動パターンを観察
  - 観察眼の重要性

おわりに2/2

- 観察眼
  - 長期滞在型とサイトシーイング型の観光の違い
    - 日本人（もしくはアジア人）と異なる行動パターン
  - 外国人ツーリストの卓越
- 安全・安心
  - 問題なし
  - 繁忙期：調査者の宿泊拠点の確保
  - 食事？
- 野外実験のフィールドとしても最適